

比企氏館跡(比企郡川島町)

正面が金剛寺



真言宗智山派清月山元光院金剛寺とある



正面が本堂

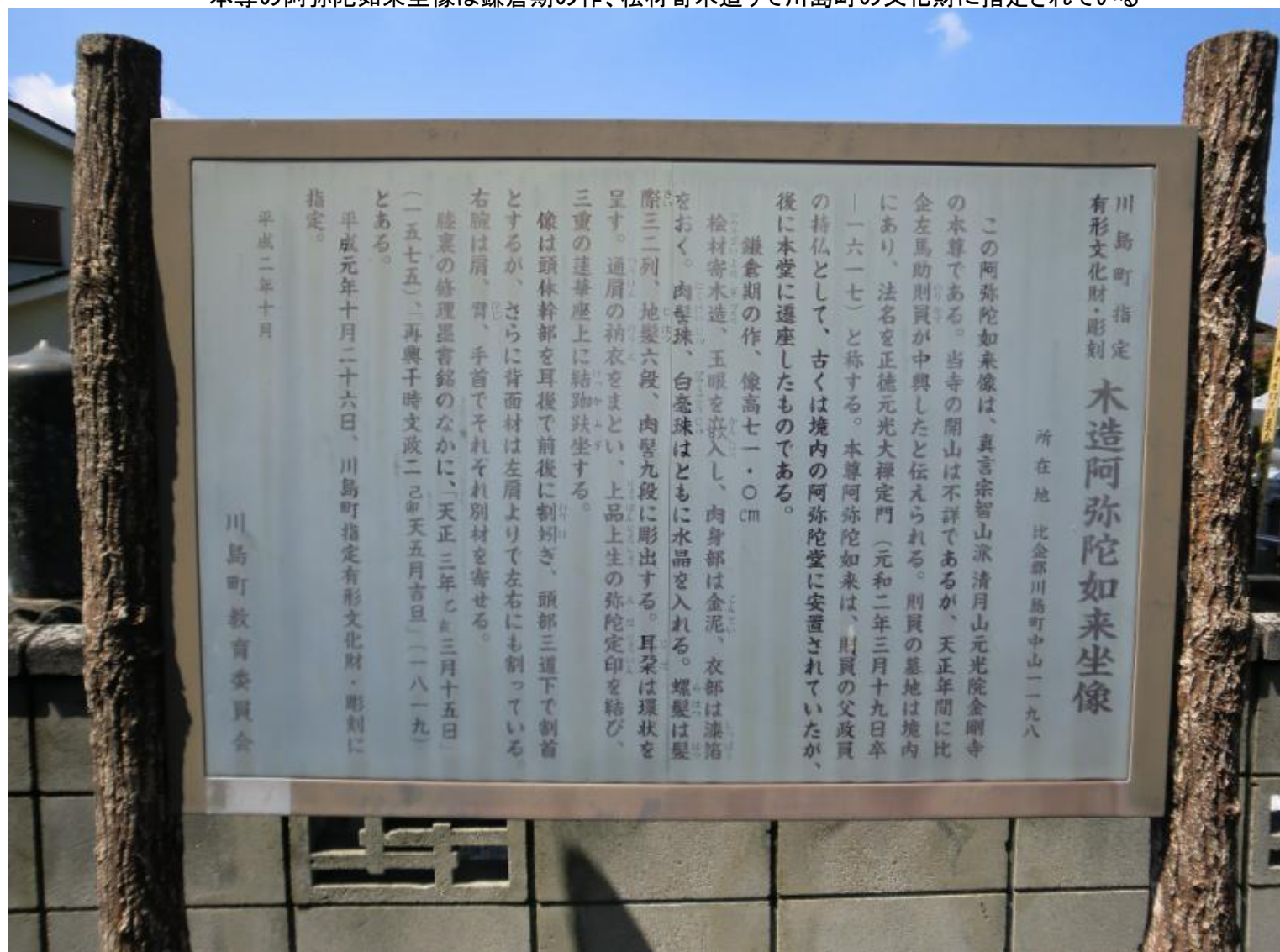


最近建て直されたばかりのようだ





本尊の阿弥陀如来坐像は鎌倉期の作、桧材寄木造りで川島町の文化財に指定されている



川島町指定
有形文化財・彫刻

木造阿弥陀如来坐像

所在地 比企郡川島町中山二一九八

この阿弥陀如来像は、真言宗智山派清月山元光院金剛寺の本尊である。当寺の開山は不詳であるが、天正年間に比企左馬助則員が中興したと伝えられる。則員の墓は境内にあり、法名を正徳元光大禪定門（元和二年三月十九日卒一六一七）と称する。本尊阿弥陀如来は、則員の父政員の持仏として、古くは境内の阿弥陀堂に安置されていたが、後に本堂に遷座したものである。

鎌倉期の作、像高七一・〇cm

桧材寄木造、玉眼を嵌め入し、肉身部は金泥、衣部は漆箔をおく。肉髻珠、白毫珠はともに水晶を入れる。螺髪は髪際三二列、地髪六段、肉髻九段に彫出する。耳朶は環状を呈す。通肩の衲衣をまとい、上品上生の弥陀定印を結び、三重の蓮華座上に跏趺坐する。

像は頭体幹部を耳後で前後に割け、頭部三道下で割首とするが、さらに背面部は左肩よりで左右にも割っている。右腕は肩、肘、手首でそれぞれ別材を寄せる。

膝裏の修理墨書銘のなかに、「天正三年乙未三月十五日（一五七五）再興于時文政二己卯天五月吉旦（一八一九）」とある。

平成元年十月二十六日、川島町指定有形文化財・彫刻に指定。

平成二年十月

川島町教育委員会

当山鎮守白山諏訪大権現とある



さて、外周を周ると境内に鐘楼が見える/右手前には「金剛寺 比企氏の墓」と記された標柱が立つ









大日堂とある/比企氏の位牌が納められているという



比企氏と歴代墓地

東鑑によると、わが郷土出身の武将比企藤四郎能員は、一族とともに北条氏に滅亡される。

〈比企氏の乱 建仁三年九月二日 西暦一二〇三年〉

能員は、娘「若狭局」を二代將軍頼家に嫁がせ、その子一幡が生まれてからは、北条時政・政子らと対立して権勢を誇っていたものと思われる。

能員・時員親子らの墓は、鎌倉市比企ヶ谷・日蓮宗妙本寺にあるが、その後数代を経て、天正のころより、当寺一帯を館とし、住居を構えるようになる。

すなわち、政員（清月・金剛大禪定門 天正三年八月十四日 歿）

西暦一五七五）則員（正徳元光大禪定門 元和二年三月十九日 歿）

西暦一六一六）義久・重貫・久員・稚久ら以降である。

なお、位牌堂（大日堂）天井の竜にまつわる伝説がある。

清月山元光院 金剛寺



比企氏墓所とある





正面が比企氏累代の墓所





さまざまな比企氏累代の供養塔



手前にあった珍しい供養塔(左手)



五輪塔の線画である



さて、この墓所の手前に堀跡が存在する



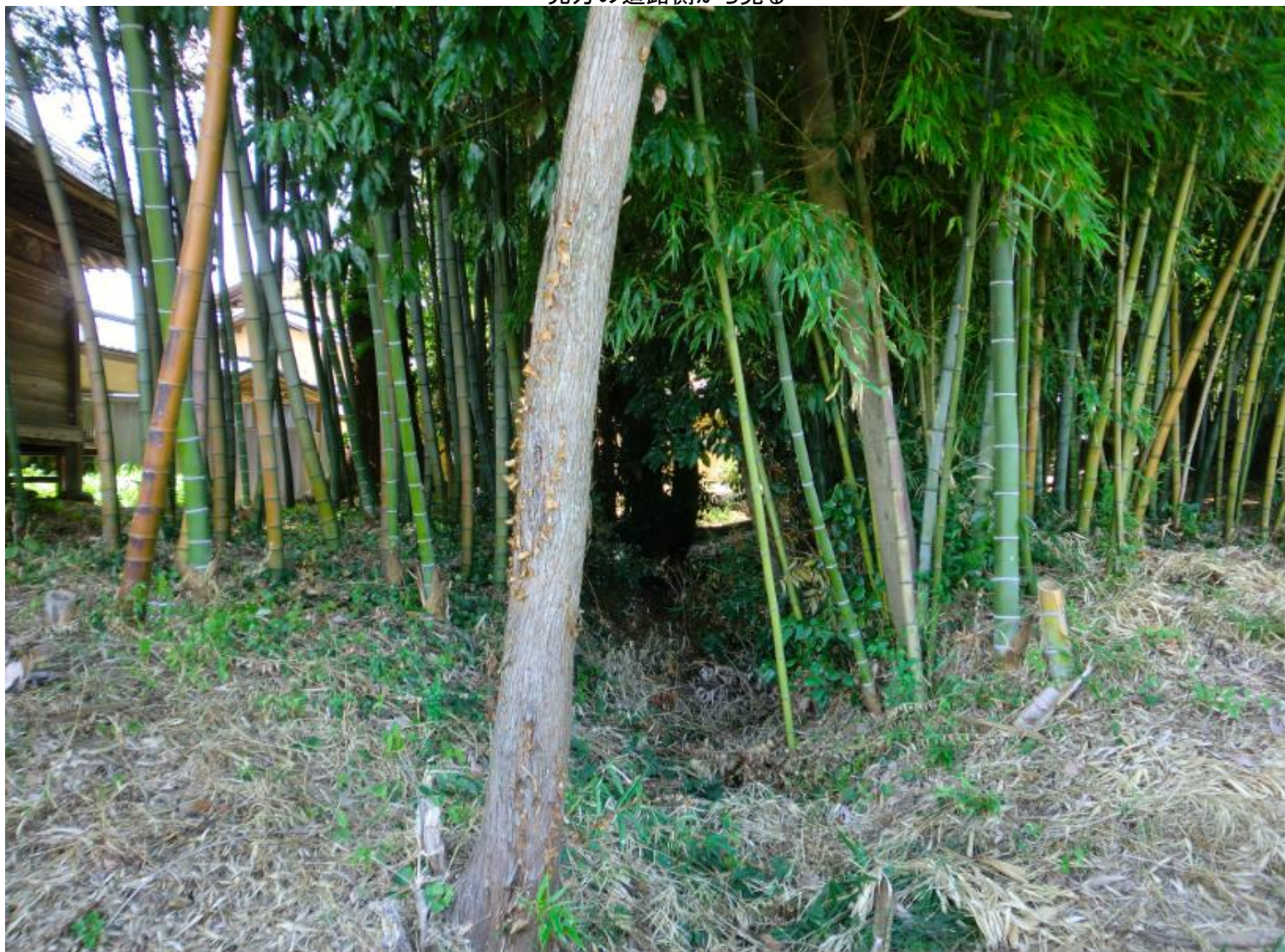


反対側にも続いている





先方の道路側から見る



竹林はこんな感じになっている/境内の右手(東側)



竹林の中に比企氏の墓所が見える



道路を直角に廻り込むとこんな堀跡がある/境内の裏側(北側)



先方から振り返って見る



こちらから竹林の右手に進んでみる





堀跡が先程の墓所の前に続いている



手前では直角に曲がって道路方向へ続いている





先方の道路側から見る



参考ホームページ

<http://jyokakuzukan.la.coccan.jp/002saitama/240hiki/hiki.html>

<http://blogs.yahoo.co.jp/wamioda56/23685166.html>

<http://homepage3.nifty.com/azusa/saitama/kawajimamati.htm>

<http://www.town.kawajima.saitama.jp/bunkazai/amida2.htm>

<http://www.geocities.jp/tsukayan0112/joukan-saitama/hikisi-yakata-kawajimamati/hikisi-yakata-kawajimamati.html>



インターネットより